



長春の南湖公園で

8月5日から10日迄、11名の参加で開拓団跡地を訪ねました。最初に佳木斯の柳樹河開拓団を訪ねました。ここは岡山県出身者が500名以上いました。次に林口駅から龍爪開拓団跡地の日の出部落に行きました。ここは小林軍治さんの生まれた所で何回も来ているので村の人が出向かえてくれま

中国東北部を訪ね、日中友好を促進する旅

河井伸士



ソ連の1945年の参戦で非慘な逃避行と寒さの中で亡くなつた人が多くいます。日本政府は中国大陸での犠牲者の遺骨の収集はしていません。それは民間人が多かつたからです。訪問団は長春の2か所でお経をとなえて、くようをしてきました。

今回の訪問で初めて中国に来た人が3名いました。現地で開拓団の実体を見聞きしたことは中国を理解する上でよかつたのでないかと思います。

した。ここには岡山県出身者が229人いました。我々が紹いた村の人達との交流会では2019年の6年前のなつかしい人達と村の人達が手作くりの酒、これがアルコール度60度です。よくこたえました。



亡くなられた方々の名前を読み上げる喜木先生

8月5日岡山空港から上海浦東空港へ飛び、そこから国内線で長春へ飛びます。長春は現在の吉林省の省都です。滿州時代は新京と呼ばれています。直行便では2時間半ほどの距離ですが、威海経由なので4時間かかりました。

東北三省というのは、北から黒竜江省、吉林省と遼寧省です。ここは以前日本が植民地支配をしていた滿州国の位置です。

真田紀子



午後高速鉄道で次の目的地、黒竜江省のジャムス（佳木斯）へ向かいました。位置は中国の最も東に位置しています。約4時間の長い移動でした。

慰靈する対象の人々は、柳樹河開拓団の方々です。青木先生が作られた亡くなられた方々の名簿を見ると、ほとんどが幼い子供たちです。

6日長春では、旧神泉寮近くの公園で献花し、その近くで亡くなられた人の名前を青木先生が読み上げられて、最後に「般若心経」を唱えました。

中 日 CP あかやま

中友好新聞

免行所
日本中国友好協会
11-0953
文部省台東武藏橋 3-2-3
電話 03(3630)2144(代)
03(3630)992144
<http://www.jca-net.jp>
jca@jca-net.jp

日中友好協会
岡山支部

福岡市東区下伊福
4丁目1-53 民生会館1F
TEL:092-861-2561-3004
日中友好協会
倉敷支部

中田 友好
<http://rizhongyouhao.iinaa.jp>
ニチトツ
nichuokayama@yahoo.co.jp





右の写真は佳木斯を流れる松花江で朝の散歩をしたときに撮ったものです。

佳木斯での慰靈

7日、今日はマイクロバスで柳樹河開拓団跡を訪ねます。豊樂鎮駅がありました。この駅の南北両側に集落があつたようです。駅の近くで河に橋をかけ替える工事をしていました。工事現場の向こうに古い橋が見えます。そこへ通してほしいと頼みました。仕方ないので、迂回して河の上流部から川床を歩いて橋に向かうことにしました。後で聞いたところでは、例年なら河には水があつて、歩いていくことはできないそうです。今年は異常な渇水だそうです。

龍操開拓団跡地

8日、佳木斯の南、牡丹江市との間に位置する林口県にあつた龍操開拓団跡地を訪問し、かつての日本人開拓団の家が一部残っている地域を散策しました。ここで生まれた小林軍治さんの写真を持つて記念写真を撮りました。



川床を歩いて15分ぐらい行くと、先ほどの工事現場の反対側につきました。河の両岸はすべてトウモロコシ畑です。トウモロコシの丈は2メートル近くあります。

古いレンガ造りの橋の橋脚が見えていますが、ここが旧岡山橋ではないかということで、献花とお経をあげました。

ホテルのレストランが営業していなくて、別のレストランで開催しました。



木先生の北国の春を皮切りに、日本人は何人か歌いましたが、中国の方の歌を聴くことはできませんでした。

哈爾浜（ハルビン）

9日、林口南駅から高速鉄道で哈爾浜駅へ向かいます。哈爾浜は黒竜江省の省都です。駅からバスで中央大街、聖ソフィア大聖堂近くへ連れて行ってもらい、この旅で初めて観光旅行のような気分になりました。中国の若い人たちが、今流行りのコスプレをしていました。女性は王女様のようなドレスを着ている人がたくさんいます。

昼食は自由でしたので、私たちは哈爾浜のガイドさんを入れて4人で、ドイツ料理の店に行きました。ビールとソーセージが美味しかつたです。

その日の内に上海へ飛行機で移動しました。

